

関係者各位

2026年2月14日

該 非 判 定 書

株式会社アートレイ
代表取締役 小森 活美



東京都杉並区高円寺北1-17-5
上野ビル4F
TEL: 03-3389-5488

下記製品について、輸出貿易管理令別表第1の第1項から第15項における
判定結果をご連絡いたします。

記

貨物名	遠赤外線USB2.0カメラ
型番	ARTCAM-384P2-THERMO
輸出貿易管理令 別表第1 判定項番	10の項(2) 該当 10の項(4) 該当
判定資料	項目別対比表 添付

- 本判定書は、最新(令和8年2月14日施行)の改正政省令に基づいて発行されております。
- 輸出貿易管理令別表第2は対象外です。

以上

輸出貿易管理令 別表第1 項目別対比表 (該非判定用)

2026.02.14施行省令等対応		(1 / 3)		貨 物 名： 遠赤外線USB2.0カメラ	
別1項番		次に掲げる貨物であつて、 経済産業省令で定める仕様のもの 10－（2）光検出器若しくはその冷却器若しくは部分品 又は光検出器を用いた装置 （2及び15の項の中欄に掲げるものを除く。）		メーカー名： 株式会社アートレイ	
				型及び銘柄： ARTCAM-384P2-THERMO	
		注 釈		判 定 欄	
〔省令〕第9条 輸出令別表第1の10の項の 経済産業省令で定める仕様のものは、 次のいずれかに該当するものとする。				該 当 ○ 非該当 × 対象外 －	
三 光検出器又はその部分品であつて、次のいずれかに該当するもの		告示貨物		【○】	
イ 宇宙用に設計した固体の光検出器		※		【×】	
ロ イメージ増強管		※		【×】	
ハ イメージ増強管又はその部分品		※		【×】	
ニ 宇宙用に設計していないフォーカルプレーンアレーであつて、 次の（一）及び（二）に該当するもの				【×】	
（一） 次のいずれかに該当するもの				【○】	
1 熱型でないフォーカルプレーンアレーであつて、 次のいずれかに該当するもの				【-】	
一 要素素子が900ナノメートル超1,050ナノメートル 以下の波長範囲で最大感度を有するものであつて、 次のいずれかに該当するもの				【 】	
イ 応答時定数が0.5ナノ秒未満のもの				【 】	
ロ 電荷増倍を行うように特に設計又は改造したものであつて、 最大放射感度が10ミリアンペア毎ワットを超えるもの				【 】	
二 要素素子が1,050ナノメートル超1,200ナノメート ル以下の波長範囲で最大感度を有するものであつて、 次のいずれかに該当するもの				【 】	
イ 応答時定数が95ナノ秒以下のもの				【 】	
ロ 電荷増倍を行うように特に設計又は改造したものであつて、 最大放射感度が10ミリアンペア毎ワットを超えるもの				【 】	
三 要素素子を二次元に配列したものであつて、 それぞれの要素素子が 1,200ナノメートル超30,000ナノメートル以下の 波長範囲で最大感度を有するもの				【 】	
四 要素素子を一次元に配列したものであつて、 それぞれの要素素子が1,200ナノメートル超 3,000ナノメートル以下の 波長範囲で最大感度を有するもののうち、 次のいずれかに該当するもの （ゲルマニウムのみを用いた要素素子を有するものであつて、 要素素子の数が32以下のものを除く。）		除外		《 》	
イ 要素素子の配列方向を基準とする要素素子の縦横比が 3.8未満のもの				【 】	
ロ 同一要素素子内に時間遅延及び積分機能を有するもの				【 】	
五 要素素子 を一次元に配列したものであつて、 それぞれの要素素子が 3,000ナノメートル超30,000ナノメートル以下の 波長範囲で最大感度を有するもの				【 】	
六 要素素子が400ナノメートル超900ナノメートル以下の 波長範囲で最大感度を有するものであつて、 次のイ及びロに該当するもの				【 】	
イ 電荷増倍を行うように特に設計又は改造したものであつて、 760ナノメートルを超える波長における最大放射感度が 10ミリアンペア毎ワットを超えるもの				【 】	
ロ 要素素子の数が32を超えるもの				【 】	
2 要素素子を二次元に配列した赤外線熱型フォーカルプ レーンアレーであつて、それぞれの要素素子がフィルタ ーのない状態において、8,000ナノメートル以上 14,000ナノメートル以下の波長範囲で感度を有するもの				【○】	
				マイクログロメータ フォーカルプレーンアレーである 数値（ 8000-14000 ）	

輸出貿易管理令 別表第1 項目別対比表 (該非判定用)

2026.02.14施行省令等対応 (2 / 3)

別1項番	次に掲げる貨物であつて、 経済産業省令で定める仕様のもの 10-(2) 光検出器若しくはその冷却器若しくは部分品 又は光検出器を用いた装置 (2及び15の項の中欄に掲げるものを除く。)	注 釈	判 定 欄	記 入 欄
〔省令〕第9条 輸出令別表第1の10の項の 経済産業省令で定める仕様のものは、 次のいずれかに該当するものとする。			該 当 ○ 非該当 × 対象外 -	
三 光検出器又はその部分品であつて、次のいずれかに該当するもの				
ニ 宇宙用に設計していないフォーカルプレーンアレーであつて、 次の(一)及び(二)に該当するもの				
(一) 次のいずれかに該当するもの				
(二) 次のいずれかに該当するもの				
1 白金シリコンを用いたものであつて、 素子の数が10,000未満のもの				数値 () 白金シリコンを用いたものではない
2 イリジウムシリコンを用いたもの				左記を用いたものではない
3 アンチモン化インジウム又はセレン化鉛を用いたもの				数値 ()
であつて、素子の数が256未満のもの		ひ		左記を用いたものではない
4 砒化インジウムを用いたもの		※砒		左記を用いたものではない
5 硫化鉛を用いたもの		ひ		左記を用いたものではない
6 砒化インジウムガリウムを用いたもの		※砒		左記を用いたものではない
7 テルル化水銀カドミウムを用いたスキャニングアレー				左記のスキャニングアレーではない
であつて、次のいずれかに該当するもの				
一 同一検出素子内に時間遅延及び積分機能を有していない ものであつて、素子の数が30以下のもの				数値 ()
二 同一検出素子内に時間遅延及び積分機能を有するもので あつて、素子の数が2以下のもの				数値 ()
8 テルル化水銀カドミウムを用いたステアリングアレー				数値 ()
であつて、素子の数が256未満のもの				左記のアレーではない
9 砒化ガリウム又は砒化アルミニウムガリウムを用いた量子 井戸フォーカルプレーンアレーであつて、 素子の数が256未満のもの		ひ ※砒		数値 () 左記のアレーではない
10 熱型フォーカルプレーンアレーであつて、 素子の数が8,000未満のもの				数値 (110,592) 左記のアレーであるが素子数が非該当
11 要素素子を二次元に配列したものであつて、それぞれの 要素素子が400ナノメートル超900ナノメートル以下の 波長範囲で最大感度を有するもののうち、 要素素子の数が4,096以下のもの				素子を二次元に配列したものである 数値 ()
12 要素素子を二次元に配列したものであつて、それぞれの 要素素子が400ナノメートル超900ナノメートル以下の 波長範囲で最大感度を有するもののうち、 一方向の最大の要素素子の数が4,096以下であり、 かつ、すべての要素素子の数が250,000以下のもの				最大感度が非該当である 数値 (8000-14000) 数値 (384) 数値 (110,592)

輸出貿易管理令 別表第1 項目別対比表 (該非判定用)

2026.02.14施行省令等対応 (3 / 3)

別1項番	次に掲げる貨物であつて、 経済産業省令で定める仕様のもの 10－(2)光検出器若しくはその冷却器若しくは部分品 又は光検出器を用いた装置 (2及び15の項の中欄に掲げるものを除く。)	注 釈	判 定 欄	記 入 欄
〔省令〕第9条 輸出令別表第1の10の項の 経済産業省令で定める仕様のものは、 次のいずれかに該当するものとする。 三 光検出器又はその部分品であつて、次のいずれかに該当するもの ホ 宇宙用に設計していないフォーカルプレーンアレーであつて、 次のいずれかに該当するもののうち、ニに該当するもの以外のもの (一) 熱型でないフォーカルプレーンアレーであつて、 次のいずれかに該当するもの 1 要素素子が900ナノメートル超1,050ナノメートル以下の 波長範囲で最大感度を有するものであつて、次のいずれかに該当するもの 一 応答時定数が0.5ナノ秒未満のもの 二 電荷増倍を行うように特に設計又は改造したものであつて、 最大放射感度が10ミリアンペア毎ワットを超えるもの 2 要素素子が1,050ナノメートル超1,200ナノメートル以下の 波長範囲で最大感度を有するものであつて、 次のいずれかに該当するもの 一 応答時定数が95ナノ秒以下のもの 二 電荷増倍を行うように特に設計又は改造したものであつて、 最大放射感度が10ミリアンペア毎ワットを超えるもの 3 要素素子を二次元に配列したものであつて、それぞれの要素素子が 1,200ナノメートル超30,000ナノメートル以下の 波長範囲で最大感度を有するもの 4 要素素子を一次元に配列したものであつて、それぞれの要素素子が 1,200ナノメートル超 3,000ナノメートル以下の 波長範囲で最大感度を有するもののうち、次のいずれかに該当するもの (ゲルマニウムのみを用いた要素素子のみを有するものであつて、 要素素子の数が3.2以下のものを除く。) 一 要素素子の配列方向を基準とする 要素素子の縦横比が3.8未満のもの 二 同一要素素子内に時間遅延及び積分機能を有するもの 5 要素素子を一次元に配列したものであつて、それぞれの要素素子が 3,000ナノメートル超30,000ナノメートル以下の 波長範囲で最大感度を有するもの 6 要素素子が400ナノメートル超900ナノメートル以下の波長範囲で 最大感度を有するものであつて、次の一及び二に該当するもの 一 電荷増倍を行うように特に設計又は改造したものであつて、 760ナノメートルを超える波長における最大放射感度が 10ミリアンペア毎ワットを超えるもの 二 要素素子の数が3.2を超えるもの (二) 要素素子を二次元に配列した赤外線熱型フォーカルプレーンアレー であつて、それぞれの要素素子がフィルターのない状態において 8,000ナノメートル以上14,000ナノメートル以下の波長範囲で 感度を有するもの 七の二 第三号ニ又はホのいずれかに該当するフォーカルプレーンアレーのために 特に設計した読み出し集積回路(民生用の自動車の ために特に設計したものを除く。)		告示貨物 除外 除外	該 当 ○ 非該当 × 対象外 － 〔○〕 〔-〕 熱型フォーカルプレーンアレーである 〔 〕 数値 () 〔 〕 数値 () 〔 〕 数値 () 〔 〕 数値 () 〔 〕 数値 () 〔 〕 数値 () 〔 〕 数値 () 《 》 数値 () 〔 〕 数値 () 〔 〕 数値 () 〔 〕 数値 () 〔 〕 数値 () 〔 〕 数値 () 〔 〕 数値 () 〔○〕 マイクロプロメータ フォーカルプレーンアレーである 数値 (8000-14000) 〔×〕 《-》	
作成年月日 2026年2月14日 作成責任者 会 社 名 株式会社アートレイ 所属・役職 技術部 (フリガナ) 氏 名 小川 亮 電 話 03 (3389)5488 (代表)		判定結果 該 当 該当項番 ① 輸出令別表第1の項番 [10(2)] ② 貨物等省令の条項号等の番号等 [第9条1項第三号ホ] []		

*告示貨物＝貨物等省令第9条第三号イ、ロ、若しくはホ

※印の項目の判定欄が〔○〕である場合は、
その項目別対比表も作成すること。

